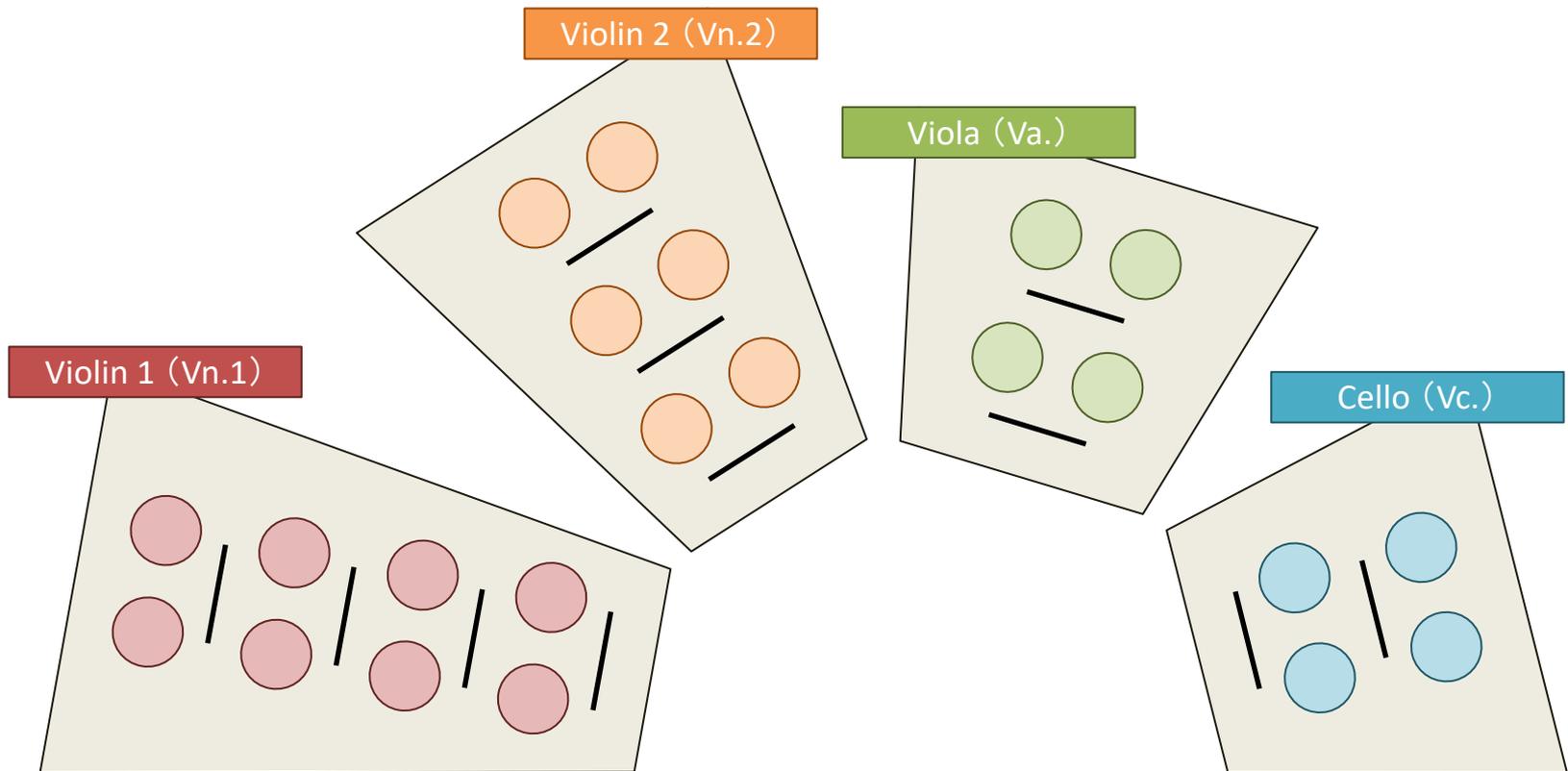


2-2 スtringスアレンジ 5つの型

ストリングスアレンジ5つの型

1st Violin～Celloまでの4パートをどうグループ分けするか？

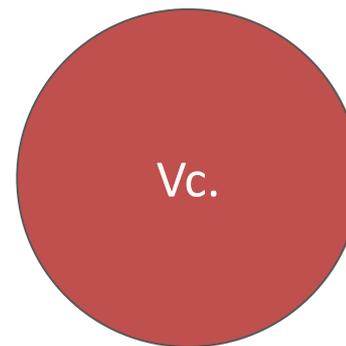
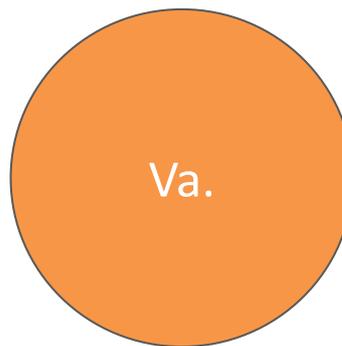
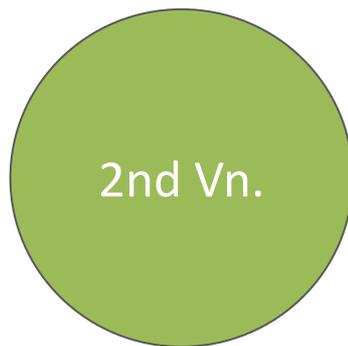
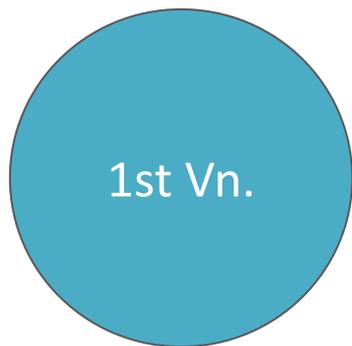


ストリングスアレンジ5つの型

- ① 4パート全てユニゾン → 「ユニゾン型」
- ② 1stがメロディ、それ以外が伴奏 → 「ホモフォニー型」
- ③ 4パート全て対位法 → 「ポリフォニー型」
- ④ 1st+2nd、Va.+Vc.の2ペア → 「デュアルオブリガート型」
- ⑤ 1st～Va.がウワモノ、Vc.がベース → 「外声特化型」

フォーム1:ユニゾン型

4パート全てユニゾン



フォーム1:ユニゾン型の特徴

- ① 全パートが完全ユニゾン
- ② スtringス全体で、2オクターヴ～3オクターヴにまたがるダイナミックなユニゾンを形成。
- ③ メロディ要素しかないため、stringス以外に和音やベース、リズムを担当するパートが必要。
- ④ 発展系として、コードを形成しながら単一のメロディを演奏する「ブロックコード型」がある。

全パートユニゾン

Prospero M04 Summer Sprint Strings

17 **Intro2** 18 19 20 21 22 23 24 2

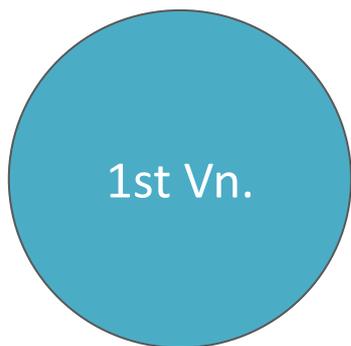
Vln. I
Vln. II
Vla.
Vc.

25 **1A** 32 33 8

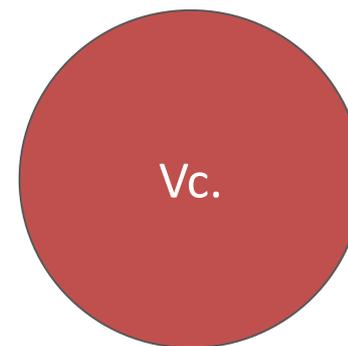
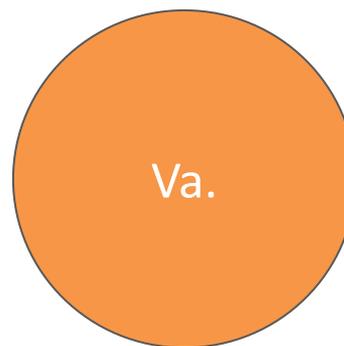
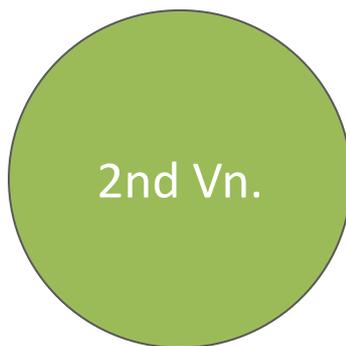
Vln. I
Vln. II
Vla.
Vc.

フォーム2:ホモフォニー型

1stはメロディ



それ以外は伴奏



フォーム2:ホモフォニー型の特徴

- ① 1stがメロディ、それ以外が伴奏
- ② 古典派音楽でよく用いられたアレンジスタイル。
- ③ メロディ、和音、ベース、リズムの全てをストリングスだけでまかなえるため、カルテットや弦楽合奏にも向いている。
- ④ 逆に、コード楽器やベース楽器が多数存在する編成ではあまり向かない。

C
unis.

Vln. I
p

Vln. II
p *mp*

Vla.
p *mp*

Vc.
p

17 18 19 20 21 22 23 24

×口 **D**

Vln. I
f

Vln. II
mf

Vla.
mf

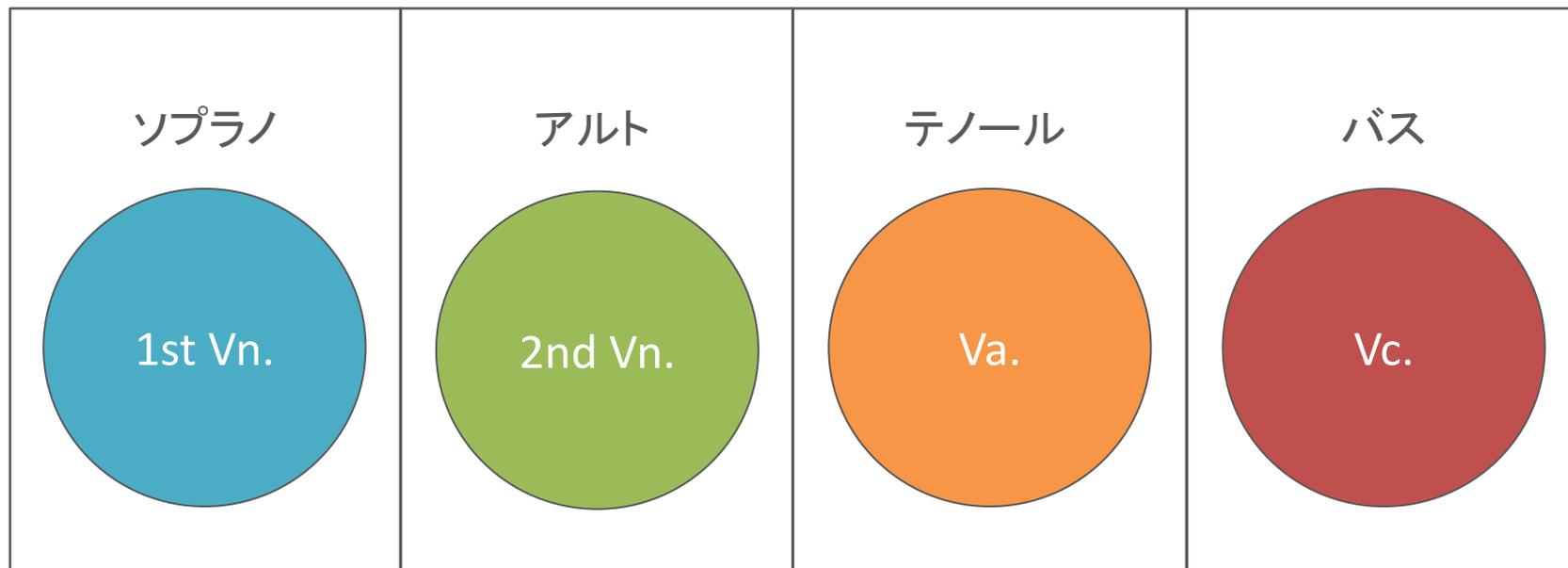
Vc.
mf

25 26 27 28 29 30 31 32

伴奏

フォーム3:ポリフォニー型

4パート全てが独立した声部



フォーム3:ポリフォニー型の特徴

- ① 4つのパートがそれぞれ独立した旋律を演奏。
- ② バロック音楽が発祥だが、現代でも幅広く用いられている。
- ③ メロディ、和音、ベース、リズムの全てをストリングスだけでまかなえるため、カルテットや弦楽合奏にも向いている。
- ④ バラードなどでピアノとのコンビネーションにも最適。ストリングスの最も基本的なアレンジスタイル。

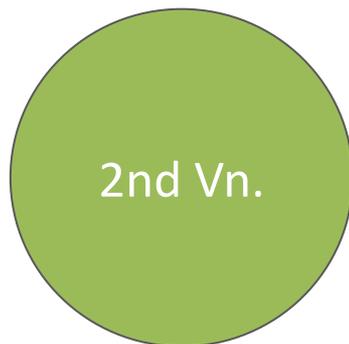
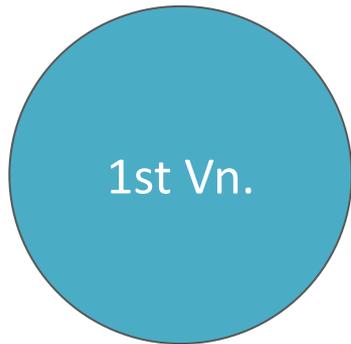
Strings

Musical score for strings (Violin I, Violin II, Viola, and Cello) from measures 101 to 104. The score shows a melodic line in the upper strings and a bass line in the lower strings. Dynamics include *ff* and *f*.

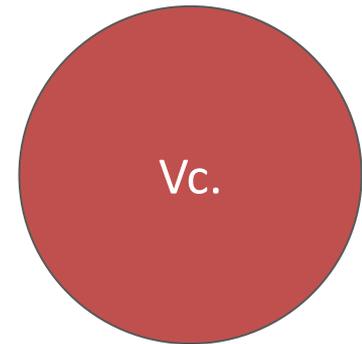
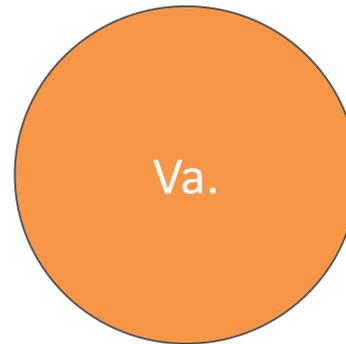
Musical score for strings (Violin I, Violin II, Viola, and Cello) from measures 105 to 112. The score is annotated with red boxes and labels: **メロ** (Melody) for Vln. I, **対旋律** (Counter-melody) for Vln. II, Vla., and Vc., and **ベース** (Bass) for Vc. The Vln. II, Vla., and Vc. parts show counter-melodic lines.

フォーム4:デュアルオブリガート型

1st&2ndは上声部



Vla.&Vlc.は下声部



フォーム4: デュアルオブリガート型の特徴

- ① 1st+2nd、Va.+Vc.の2ペアでそれぞれメロディを演奏。
- ② 2つの旋律が同時に絡み合う、対旋律に特化したアレンジスタイル。
- ③ メロディ要素しかないため、コード、ベース、リズムの要素は他のパートに任せることが前提。
- ④ さらに細分化して、トリプルオブリガート、クワッドオブリガートスタイルも可能。(だが超難しい。)

Strings

Intro

Prospero M01

稲毛 謙介

♩ = 220



1

2

3

4

5

6

7

8

9

×口1

Violin I

Violin II

×口2

Viola

Violoncello

Vln. I

Vln. II

Vla.

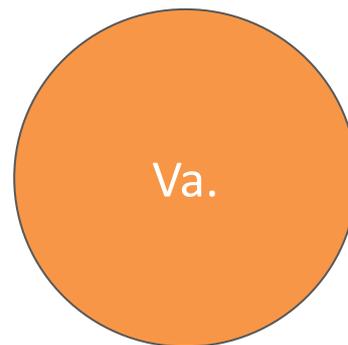
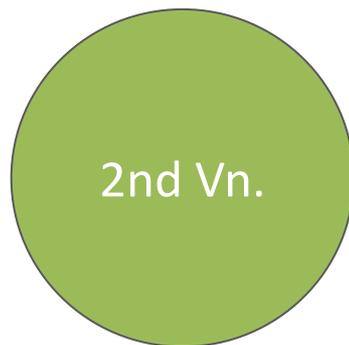
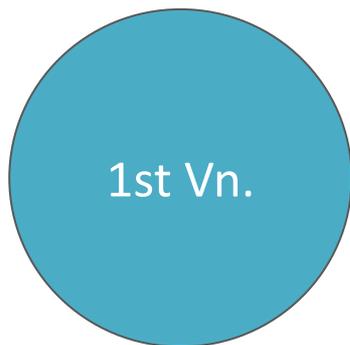
Vc.

V.S.

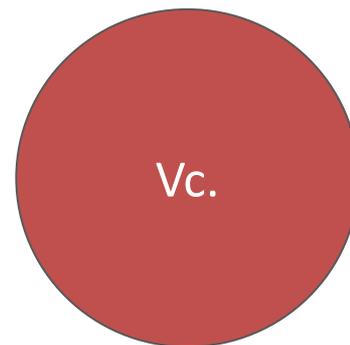
©2020 TEMPEST STUDIO Co., Ltd.

フォーム5: 外声特化型

1st~Vla.はウワモノ(メロディ)



Vlc.はベース



フォーム5: 外声特化型の特徴

- ① 1st～Va.までがウワモノ、Vc.がベースを担当する
- ② こちらもホモフォニー的なアレンジ形態だが、メロディとベース要素に特化した形。
- ③ 和音要素がないため、別途コード楽器との併用が不可欠。
- ④ オーケストラでは、1～Vc.までが全てメロディ、コントラバスのみベースを担当することも。

Strings

Setebos Theo M01

稲毛 謙介

ウワモノ

A ♩ = 130

div.

Musical score for Violin I, Violin II, and Viola in section A. The score is in 4/4 time with a tempo of 130. It features a dynamic marking of *ff* and a *div.* instruction. The Violin I part includes a *7* marking. The Violin II and Viola parts have a *7* marking. The score spans measures 1 through 8.

Musical score for Violoncello in section A. The score is in 4/4 time with a tempo of 130. It features a dynamic marking of *ff* and a *3* marking. The score spans measures 1 through 8.

ベース

Musical score for Violin I, Violin II, Viola, and Violoncello in section B. The score is in 4/4 time with a tempo of 130. It features dynamic markings of *fp* and a *3* marking. The Violin I and Violoncello parts include a *v* marking. The score spans measures 9 through 16.

v.s.

©2019 TEMPEST STUDIO Co., Ltd. All Rights reserved.

©OTO × NOMA ©TEMPEST STUDIO

OTO × NOMA